

2024. 7. 31

## 【1次QE予測（24年4-6月期）】

### 前期比年率+2.5%とプラスを予想

～2024年後半の日本経済は緩やかな回復にとどまる～



経済調査部 エコノミスト

前田 和孝

#### ポイント

- 2024年4-6月期実質GDP成長率は前期比+0.6%（年率換算：+2.5%）とプラスになったと予想
- 個人消費は、春闘における高い賃上げ率が給与に反映され始めたことや、自動車販売の持ち直しが下支え要因となり、5四半期ぶりにプラスに転じたとみる
- 先行きについては、個人消費や設備投資など内需は堅調に推移するとみるが、外需は低迷が見込まれ、2024年後半の日本景気の回復ペースは緩やかなものにとどまると予想

#### 1. 4-6月期実質GDP成長率はプラスを予想

内閣府から8月15日に発表予定の2024年4-6月期実質GDP成長率は前期比+0.6%（年率換算：+2.5%）と、プラスになったと予想する。1-3月期は、能登半島地震や一部自動車メーカー等の認証不正問題に伴う出荷停止といった特殊要因が景気の下押し材料となったが、これらの影響が緩和したとみられることが大きい。

需要項目別に見ると、まず、民間最終消費支出（個人消費）は1-3月期：前期比▲0.7%→4-6月期：同+0.4%と、5四半期ぶりのプラスを予想する。物価高が引き続き重石となったとみられるが、春闘における高い賃上げ率が給与に反映され始めたことや、自動車販売の持ち直しが下支え要因になったと予想する。

住宅投資は、貸家や分譲の着工に持ち直しの動きが見られることなどから、1-3月期：前期比▲2.9%→4-6月期：同+0.9%と4四半期ぶりのプラスを予想する。設備投資は、堅調な脱炭素・デジタル関連の投資需要に加え、自動車メーカー等による認証不正問題の影響が緩和したことで、1-3月期：前期比▲0.4%→4-6月期：同+0.6%と、2四半期ぶりにプラスに転じたとみる。政府最終消費支出は、医療費の増加などから、1-3月期：前期比+0.2%→4-6月期：同+0.1%とプラスを予想する。公的固定資本形成は、国土強靱化関連の防災・減災工事や災害復旧工事の進捗に伴い、1-3月期：前期比▲1.9%→4-6月期：同+3.5%と、4四半期ぶりのプラスになったと予想する。

輸出は、1-3月期：前期比▲5.1%→4-6月期：同+1.9%と、2四半期ぶりにプラスに転じたと予想する。中国向けやEU向けを中心に財輸出は低調だったものの、堅調なインバウンド需要が押し上げに寄与したとみる。輸入は、1-3月期：前期比▲3.3%→4-6月期：同+1.1%となり、純輸出の寄与度は+0.2%ポイントのプラスになったと予想する。

## 2. 2024 年後半の日本経済は緩やかな回復に

先行きについては、賃金上昇に加え、秋口以降の物価上昇率鈍化に伴う実質所得のプラス転換が個人消費を押し上げると予想する。設備投資は、シリコン・サイクルの好転で半導体製造装置や半導体材料の増産のための投資需要増加が追い風になるとみる。一方、外需に関しては、当面軟調な推移が続くと見込む。インバウンドは引き続き下支え要因になるとみられるが、財輸出は中国景気が力強さを欠くことなどから低迷持続が見込まれ、2024 年後半の日本景気の回復ペースは緩やかなものにとどまると予想する。

### 実質 GDP 成長率予測

(前期比：%)	23/6	23/9	23/12	24/3	→予測	
					24/6	寄与度
実質 GDP	0.9	-1.0	0.0	-0.7	0.6	-
前期比年率	3.7	-4.0	0.1	-2.9	2.5	-
民間最終消費支出	-0.7	-0.3	-0.4	-0.7	0.4	0.2
民間住宅投資	1.6	-0.9	-1.5	-2.9	0.9	0.0
民間設備投資	-2.1	-0.1	2.0	-0.4	0.6	0.1
政府最終消費支出	-0.4	0.2	-0.1	0.2	0.1	0.0
公的固定資本形成	2.4	-2.1	-2.4	-1.9	3.5	0.2
民間在庫品増加(寄与度)	-0.1	-0.6	-0.1	0.3	-	-0.1
純輸出(寄与度)	1.7	-0.1	0.2	-0.4	-	0.2
財貨・サービスの輸出	3.8	0.3	2.8	-5.1	1.9	0.4
財貨・サービスの輸入	-3.6	0.9	1.8	-3.3	1.1	-0.2
内需(寄与度)	-0.7	-0.9	-0.2	-0.4	-	0.4
名目 GDP	2.4	-0.3	0.6	-0.2	1.1	-
前期比年率	10.1	-1.2	2.4	-0.9	4.3	-
GDPデフレーター(前年同期比)	3.7	5.2	3.9	3.4	2.4	-

(出所) 内閣府公表資料より明治安田総研作成

本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください

明治安田総合研究所 エコノミスト 前田 和孝

電話番号：03-6261-7947

e-mail：ka3-maeda@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411